



2013-2014 年
RI会長 ロン パートン
第 2640 地区ガバナー 久保治雄



海南東ロータリークラブ

ROTARY CLUB OF KAINAN EAST

RI District 2640 Japan

第 1791 回例会

平成 26 年 6 月 9 日(月)

12:30～ 海南商工会議所 4F

1. 開会点鐘

2. ロータリーソング

「我らの生業」

3. 出席報告

会員総数 50 名 出席者数名 35 名

出席率 70 % 前回修正出席率 64 %

4. 会長スピーチ

会長 小椋 孝一 君

皆さん、こんにちは。5 月 28 日(水)から 6 月 3 日(火)まで宇恵さん、上中さん、桑添さんロータリークラブ世界大会(オーストラリア・シドニー)に参加くださりご苦労様でした。わたくし会長、幹事、SA 三役が行けなくて申し訳御座いませんでした。お詫び申し上げます。また世界大会(シドニー)の報告を 16 日(月)にして頂く様になっていますので、よろしくお願いします。



また、7 日(土)・8 日(日)80 会ゴルフ同好会で三重県、賢島カントリークラブに行ってきた。80 会会長宇恵さん、幹事の皆さんご苦労様でした。今回のゴルフ旅行は、出発前からハプニングやアクシデント続きの連続でした。多分何年かは言い継がれるでしょう。そのアクシデントの中優勝が谷脇さん、準優勝が私小椋がアクシデントの中の一員です。又栄えある 4 位の上野山さん 6 位の重光さんおめでとうございます。来年度は 80 会の役員として頑張ってください。

6 月 15 日(日)社会奉仕委員会より

浜の宮海水浴場にてたんぼぼの会の行事があります。会員の皆様方はできるかぎり出席よろしくお願いします。

今日は先日の IDM の報告をして頂きますので、よろしくお願いします。

5. 幹事報告

幹事 大谷 徹 君

○例会臨時変更のお知らせ

高野山 RC 6 月 27 日(金)→ 6 月 25 日(水)

18:00～ 天の里「親睦家族例会」

6. IDM 報告

○1 組

発表者 阪口 洋一 君

4 月 8 日に美登利さんで行いました。

出席者は朝井、林、宮田(敬)、宮田(貞)、岩井、谷脇、柳生、総田、阪口の 9 名です。

テーマ 1 クラブ・地区への要望
クラブへの要望



- ・今年度の執行部はクラブ運営面でいろいろな企画をして活動をしているので何もいう事はない。
- ・台湾のロータリークラブより要望があるが、これに応えられていない状態にあるので、対応をお願いしたい。
- ・外部より卓話においていただく人の卓話をもっと早い時間にしてはどうか。遅い時間では卓話していただく人に失礼にあたる。
- ・2015 年きのくに国体では、海南でバスケットボール・軟式野球・ホッケーが行われる。当クラブとして、または海南 3 クラブとして国体の運営に協力するような体制を作ったらどうか。
- ・ニコニコで集まったお金はクラブ運営に重要な資金なので、もっと積極的に参加してほしい。SA さんにリードをお願いしたい。
- ・ニコニコは今これだけ集まったということを例会で知らせてほしい。
- ・理事会の内容を例会で報告してほしい。

地区への要望

- ・ガバナーノミニの件でまたもめているようであるが早く正常な状態になるよう希望する

テーマ 2 会員増強

- ・とにかく会員増強に力を入れなくてはならない。数は力なり。
- ・会員はだれか一人を会員として勧誘するようにしてほしい。

四つのテスト 言行はこれにてらしてから

- ①真実かどうか ③好意と友情を深められるか
- ②みんなに公平か ④みんなのためになるかどうか



事務所 〒642-0002 海南市日方 1294(海南商工会議所内)

電話(073)483-0801 FAX(073)483-2266

会長: 小椋 孝一

幹事: 大谷 徹

SAA: 重光 孝義

<http://www.kainaneast-rc.jp>

E-mail: info@kainaneast-rc.jp

・退会した会員に対しても、ロータリーファミリーとして家族会等に招待してはどうか。

○2組

発表者 中村 俊之 君

日時 2014年4月10日

場所 美登利 10名中7名出席。

テーマ1 クラブ・地区への要望

現理事である上野山さんより現状報告していただき、ちょうどミニーの問題でもめている時期でした。

・地区からの補助金が降りてこないのは問題だ。

(地区分担金をはらっていないから)

・要望しても今の状況では聞き入れてもらえないのでは？

・早く真の正常化をして欲しい。

テーマ2 会員増強について

・地区がもめている今の現状では。とても人に入会を勧められない。

とにかく皆さん仲良くやりましょう！



○3組

発表者 中西 秀文 君

日時 4月4日(金)

場所 たなか屋

深谷さん、土井さん、小久保さん、小椋さん、桑添さん、中尾さん、田中秀さん、宇恵さん、上田さん、中西の計10名全員参加
リーダーが深谷さん、副リーダーが中西でした。

テーマ1 クラブ、地区への要望

テーマ2 会員増強について

小椋会長と私から地区の現状について報告させて頂きましたが、今のごたごたした地区への要望はありませんでした。むしろ海南東RCが楽しく活気のあるクラブであれば良いという話の中で、和気あいあいとお酒がすすみ本当に楽しい時間を過ごすことができました。



○4組

発表者

千賀 知起 君

日時 4月18日

場所 美登利 出席者 8名

テーマ1 クラブ・地区への要望

楠部さんより地区の近況を報告していただきましたが、いろんなことがあり地区の正常化にはほど遠いとの話でした。よって要望としては、いままでのしがらみをなくし一日も早く正常化をお願いしたい。このままだとテーマ2の増強の話にも影響し、退会者の増加につながる恐れがある。

テーマ2 会員増強の件

今の海南市の状況から増強は、かなり難しいのでは？当クラブのIDMのテーマに毎回議題となつて、



色々な意見がすでに出ていると思われます。IDMで出した意見を、もっと理事会等で議論・検討していただきたい。増強を永遠の課題とし、常に増強を念頭においておく事が必要でありそうする事により退会防止にもつながる様に思う。

入会金・会費を下げては？と云う意見もありました。また、女性会員の会費を下げて女性会員の増強を図ればと云う意見もありました。入会5年位の比較的新しい会員の友人等に積極的に勧誘していただく。

当クラブ員は、会社役員オーナー等多いが、会社定年退職者で、ロータリー活動をしたいと考えている人も多いのではないかと、そういう人を発掘するのもいいと思う。楽しい話・雑談で美味しい料理とお酒をいただき散会となりました。

○5組

発表者 田中 祥秀 君

4月16日、和歌山市美園町の「はな舞」で開催しました。出席者は8名(花田宗弘、三木正博、大谷徹

魚谷幸司、重光孝義、田中祥秀、寺下卓)でした。リーダーは寺下さん、副リーダーが田中で、和やかに話し合いました。

テーマ1 クラブ・地区への要望

会員卓話は時間を短くして、2～3人にしてはどうか。また、夜しか来れない人のために夜間例会を増やしては。時間も全部7時からにしてほしい。

今回の地区割りのメンバーでのIDMは良いので、今後もやってほしい。

テーマ2 会員増強について

海南3クラブで合併を考えては。楽しいクラブなので、若い人の入会を勧めたい。社会奉仕活動を積極的にして、アピールする必要がある。海南の街づくり事業の取り組みなど。



7. 閉会点鐘

次回例会

第1792回例会 平成26年6月16日(月)

12:30 海南商工会議所4F

会員卓話 シドニー国際大会の報告



ニコニコ・BOX

谷脇 良樹 君 80会で救急車で運ばれ、大変でした。

桑添 剛 君 80会で食中毒にならず、よかったです。

上野山 雅也 君 80会で中西さんが夜中苦しんでおられ、大変でしたが、楽しいゴルフ旅行でした。

宇恵 弘純 君 80会の参加最高齢で、食事もすべて食べましたがピンピンしてます。

小椋 孝一 君	80会の会長及び幹事の皆さんご苦勞様でした。ゴルフのプレー中に重光君にゴルフボールをあてました。すみません。
寺下 卓 君	80会ゴルフ旅行楽しかったです。アクシデントもありましたが、幹事さん、はじめ、皆様お疲れ様でした。
角谷 太基 君	80会幹事様はじめ皆様楽しい時間をありがとうございました。ネタ盛りだくさんで楽しかったです。
大谷 徹 君	80会の皆さん1日ご苦勞様でした。
重光 孝義 君	昨日80会幹事さんご苦勞様でした。ありがとうございました。色々なハプニングもあり、大変でしたが、楽しかったです。
宇恵 弘純 君	80会の幹事(大江さん、箕嶋さん、桑添さん)ご苦勞様でした。



2014-15 年度『ロータリーの友』

表紙写真再募集！

2014-15 年度『ロータリーの友』3～6月号の表紙写真を再募集いたします。テーマは設けません。募集要領は

- ①締め切り：2014年11月末日
- ②点数：1人3点まで
- ③サイズ：紙焼き四つ切り（それに近いサイズも可）
- ④添付資料：名前、クラブ、連絡先 住所・電話・ファクス、撮影場所、撮影年月、撮影のデータ（カメラ名、使用レンズ〔ミリ〕、露出、シャッター速度）、簡単な写真説明
- ⑤発表：『友』誌、ホームページ『ロータリージャパン』入選者名のみ
- ⑥審査員：岡井耀毅氏（元『アサヒカメラ』編集長・現『友』表紙解説者）、ロータリーの友編集担当理事ほか
- ⑦その他：表紙のサイズに合わせトリミングをする場合があります。／写真の上にタイトルその他の文字がかかる場合があります。／採用決定作品は、掲載時にネガフィルム、ポジフィルム、デジタルカメラの場合はデータが必要になります。／掲載に際して、賞金ならびに掲載料等の支払いはいたしません。／入選作品の著作権は撮影者に帰属します。「ロータリーの友」は、『ロータリーの友』（印刷版・デジタル版）、『友』英語版、その他の印刷物、ウェブサイトへの掲載、展示などの使用权を保有します。／応募作品の返却はいたしません。

【応募先】〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15

黒龍芝公園ビル 4 階

一般社団法人ロータリーの友事務所

ご応募、お待ちしております！

ロータリーを実践し続けよう！

2013-14 年度 R I 会長 ロン D. バートン

親愛なるロータリアンの皆さん、オクラホマでは「積まれた薪の山の前を去る時は、見つけた時より少しだけでも高くしておかなければならない」と言われています。これを実践するために、私は皆さんに参加をお願いする必要がありました。参加することは、私たちの今年度のテーマ「ロータリーを実践しみんなに豊かな人生を」そのものです。そして、私たち一人ひとりがそれを成し遂げました。私たちの一人ひとりが椅子から立ち上がって、ロータリーを実践してきたので、私たちは人生を豊かなものに変えたのです。今年度、私は皆さんにそれぞれが新しい会員を連れてくるよう頼みました。国際ロータリー理事会は、世界中で会員増強をする基盤をつくりました。16 の地域別会員増強計画が、今、進行中です。それぞれの地域で、人々がロータリーにいる理由付けを確信できるように設定されたものです。



子どもたちへの本の読み聞かせ、恵まれない人のための炊き出し、幹線道路沿いのごみ拾いといったプロジェクトの手伝いをしてくれる会員候補者がいれば、あとはおのずと進んでいくと、私は信じています。彼らは、自分たちが誰かの人生を変えた実感するでしょう。そして、ロータリーの奉仕を通して与える時、それ以上に報われると実感するでしょう。

私はまた、皆さんにロータリー財団への寄付をお願いしました。今年度のガバナーは全員それを実行し、ロータリーの歴史の中で、初めてこの約束を果たした「ファーストクラス（バートン R I 会長が今年度のガバナーにつけた呼称）」になりました。

私たちは、自分のクラブで何の責任も持たないことを心地良く感じる場合があります。その理由は、私たちがロータリーをもっと実践するよう働きかけられていないからかもしれません。もちろん、例会に行って友人たちに会うのは素晴らしいことです。しかし、もし皆さんが情熱を注ぎたければ、プロジェクトに関わる必要があります。実践的なプロジェクトにおいては、皆、同じになれる。トラックから箱を降ろす作業をしている時、あなたは隣の人と何ら変わるところはありません。その人は、あなたといささかの違いもありません。共に奉仕する時、皆、仲間であり、このようにして人々は関わり続けるのです。

ロータリアンは、ロータリーが行っていること、そしてその能力をあまりわかっていないことがあります。ロータリアンが、私が今年度見てきたように、プロジェクトがどのような影響を与えているのかを目の当たりにすることができたら、彼らの人生はより豊かなものになるでしょう。ロータリアンは、会員が良いことをしたいという共通の思いを持ち、共に働くこ

とで、とてつもないことを成し遂げる組織に所属していることを理解するでしょう。

私は、ロータリアンが行っている善行を見て畏敬の念を抱き続けます。皆さんの活動のおかげで、薪の山は少し高くなったと確信し、皆さんの一人ひとりがこれからも「ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を」続けてくださることを願っています。

メキシコの無料診療所、 麻薬戦争を乗り越えて

メキシコ・チワワ州にある小さな町ゲレーロは、麻薬戦争と不況の影響を受け、国内でも危険な場所とされています。その町に、貧困者に無料で医療を提供しているゲレーロ・クリニックという診療所があります。2006年に始まった麻薬戦争が原因で米政府から渡航禁止令が出され、米国からのボランティアが激減し、活動を停止したこともありましたが、



わが子のため、はるか遠くから

そのような中、ウォルター・ブランソンさんは、テキサス州とメキシコ北部のロータリークラブと協力し、1983年から支援を続けてきました。診療所では、年に6回、無料で医療ケアを提供しています。毎年、多いときには550件の白内障手術に加え、口蓋裂手術、植皮手術、がん検診、子宮頸がん検査も行っています。無料の医療サービスが行われる週は、いつも1,000人を超える患者が訪れ、はるか遠くから来る人もいます。ウォルターさんは、赤ちゃんを連れてきた一人の母親のことを振り返ります。「この母親は、子どもの治療費が払えないので、はるばるアカプルコからやってきたのです」アカプルコは、チワワ州ゲレーロから約2,000km離れています。

大きな資金ニーズ

診療所のニーズは大きく、多くの資金を必要としています。メキシコのクラブは、2003年に基金を設立。その後、政府の資金援助を受けることができましたが、それも2012年に打ち切られました。現在、メキシコと米国のロータリークラブは資金調達の方法を変え、ロータリー補助金の申請を行っています。また、ほかの団体とも協力しています。「この活動を知ってもらうだけでも意味がある」と話すのは、ロータリー会員のセルソ・レイエスさん（メキシコ）です。「でも、この場を訪れて、眼科治療や口蓋裂の治療がもたらす大きな変化を見てください。きっと、この活動の本当の素晴らしさを実感できるでしょう」

本を読んで世界観を広げる

ここは、米国ノースカロライナ州の小学校。教室から子どもたちの明るい声が聞こえてきます。好きな食べもの、飼っているペット、夢中になっているスポー

ツなど、話の種はつきません。どこの学校にもある素朴な風景。でも一つ、特別なことがあります。子どもたちは、地球の裏側、インドにいる友だちと話をしているのです。

地元のニーズからプログラムを考案

これは、ロータリー読書レンジャーという課外プログラム。読書の力を養い、ビデオ会議で海外の生徒と交流しながら世界観を広



げることを目的としています。「視野を広げて、国境をこえた友情を築いてもらいたかった」と話すのは、プログラム考案者のトッド・テイラーさん（ダラム・ロータリークラブ会員）。平均的な読解力を満たしていない地元の生徒が4割を超えることを知ったテイラーさんは、本の寄贈に加えて、読解力向上プログラムを始めることを思い立ちました。まずは、勤め先の人脈を生かして、インドに支部をもつ企業研修団体と協力関係を構築。そうして、地球の裏側とつながるビデオ会議を実現することができました。

子どもたちに生まれる自信

このプログラムでは、35名のアドバイザーが子どもたちの読書をサポートしています。開始から間もないプログラムですが、すでに絶大の効果が出ています。「プログラムで25時間学ぶと、1学年に相当する読解力を向上できる」とテイラーさん。実際、生徒たちは5カ月間で、1.5学年相当の力を伸ばすことができたそうです。テイラーさんのクラブ仲間、プログラムのアドバイザーであるニューマン・アギーアさんは、ビデオ会議の効果を絶賛します。「海外の子たちとの共通点を発見し、人と人とのつながりを認識し、豊かな世界観を育てることができます。私が教えている子どもたちは、当初、学業面での遅れをとっていたのですが、プログラムを通じて自信をもって本を読めるようになりました。みるみると力をつけて、本を読んで聞かせてくれるとき、何よりの喜びを感じます」

学校側との協力がカギ

このようなプロジェクトでは、学校関係者にも参加してもらい、アドバイザーのための研修で力を貸してもらうことが大切だとテイラーさん。とくに、教員と足並みをそろえて、学校での問題や懸念について把握することの重要性を強調します。「読書の楽しさを知った子どもたちは、模範となって行動し、夢を語るようになる」とアギーアさん。「どの地域社会にも、読み書きを苦手とし、教育を受ける準備ができていない子どもたちがいるはず。そんなときに、早い時期から効率的に識字サポートを行い、地域全体のレベルを押し上げる支援をする人たち。それがロータリアンなのだと思います」

6月はロータリー親睦活動月間です